令和２年度　第４４回　全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦　況　用　紙

女47

女子　決勝

会場　　小瀬スポーツ公園体育館

チーム名				チーム名
昭和学院	22	11 － 13 11 － 13 － － － 7mTC	26	名古屋経済大学市邨

初戦から勝ち上がり、６連戦となった両チーム、しかし疲労を感じさせないハツラツとしたプレーを見せる。先手を取ったのは名経大市邨、水谷の７ｍＴ、山口、関の３連続得点を挙げる。すかさず昭和学院はタイムアウトを取り、落ち着きを取り戻し、吉田が初得点を挙げる。しかし、名経大市邨は素早い戻りで昭和学院得意の速攻を防ぎ、杉浦、白木の連打でまたもや３連取、７−２と主導権を握る。両チームのＧＫ（昭和学院・近藤、名経大市邨・榎本）が好セーブを連発するも、昭和学院は２度の連取に成功し、前半は名経大市邨の２点リードで折り返した。

後半開始直後、昭和学院は相手退場の間に尾関、吉田、中村で４連取、８分過ぎに１５−１４と逆転に成功する。すかさず名経大市邨が連取で再逆転すると、昭和学院が追いつく息詰まる攻防が続く。しかし、１４分過ぎから立て続けに７ｍＴを得た名経大市邨は水谷がきっちりと決めて勝ち越し、その後も関の連打などで２１−１６と再びゲームの主導権を握る、と２３分からも３連取でリードを７点に広げる。粘る昭和学院は２６分過ぎから４連取で意地を見せるも、最後は水谷が豪快にミドルを叩き込んだ名経大市邨が勝利をつかんだ。

名経大市邨は、第３２回大会以来１２年ぶり３回目の戴冠。

令和３年　３月２９日

記載者氏名　　古屋　浩幸